

第 29 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会

～ 重度重複の聴覚障害児・者と高齢聴覚障害者の発達と権利を考える～

開 催 要 綱

1. 主 旨

全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会は、1985 年の「いこいの村の仲間と働き学ぶ、夏のつどい」を原点到に、重度・重複の聴覚言語障害者の発達と権利を考える集会としてはじまり、1997 年から全国集会へ発展しました。「人としてあたりまえに生きたい」という願いを出発点に、暮らしや労働等の豊かな日中活動、新たな事業所や制度づくり等の実践と運動を交流し、権利保障の前進をめざしてきました。

2025 年度は、東京 2025 デフリンピックが開催され、聴覚障害や手話言語への社会的関心が高まった一方、人口減少や少子高齢化、福祉人材不足、社会保障制度の持続可能性等暮らしや福祉を取り巻く課題も深刻になっています。また、震災や豪雨等の自然災害が多発する中、情報から取り残されやすい聴覚障害者の命と暮らしを守る仕組みづくりも重要な課題となっています。世界では戦争や紛争が続いており、平和なくしては人権も福祉も保障されないことを改めて考える必要があります。

とりわけ、ろう重複・ろう高齢者は、障害、年齢、情報・コミュニケーション、社会的孤立等、複数の困難さを抱えています。制度やサービスがあっても本人の手話や意思が尊重されず、意思決定や社会参加から取り残されるならば真の権利保障とは言えません。障害者権利条約の理念を具体化し、「支援される人」ではなく「権利の主体」として、一人ひとりの尊厳と自己決定を保障する福祉実践が求められています。

さらに、2025 年に「手話施策推進法」が成立したことは、手話を言語として保障し、その習得・使用と手話文化の保存・継承・発展を進める大きな転換期です。また、高齢者の尊厳と権利を国際的に保障するための「高齢者人権条約」をめぐる論議も進んでおり、ろう高齢者の言語・文化・暮らし・自己決定の権利をどう保障するかが問われています。

本集会は、

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 権利の主体としての聴覚障害者 | 障害者権利条約の具体化 |
| ② 手話言語の時代を拓き、前進させる | 手話施策推進法の活用と実践・運動 |
| ③ ろう重複・ろう高齢者の人生と権利 | 福祉のあり方と高齢者の人権条約 |
| ④ 災害・平和・地域共生 | 平和と人権を守る福祉実践のつながり |
| ⑤ 実践・研究・運動の継承、未来へ | 「明日からの実践」と「社会を変える運動」に |

以上の5つの視点からこれまでの実践と運動を振り返り、現在の社会情勢の中で私たちに求められているものを確かめ合い、「手話で生きる」「施設や地域であたりまえに暮らす」「最期まで自分らしく生きる」という願いを実現するための実践・研究・運動を次世代に引き継ぐ力を生み出す集会をめざします。

2. 主 催 社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会

3. 共 催（順不同）

社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会／社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会／社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会／社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会／全国ろう重複児・者家族連絡会

4. 協 力 社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会／社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

5. 運 営 第29回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会実行委員会

構成団体（順不同・予定）

公益社団法人大阪聴力障害者協会／一般社団法人大阪手話通訳問題研究会／大阪手話サークル連絡会／社会福祉法人コスモスほくぶ障害者作業所／大阪ろうあ会館／大阪重複ろうあ者家族の会／社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

6. 後援（順不同）（予定）

厚生労働省／日本障害フォーラム（構成団体（順不同）：一般財団法人全日本ろうあ連盟／社会福祉法人日本身体障害者団体連合会／社会福祉法人日本視覚障害者団体連合／特定非営利活動法人日本障害者協議会／特定非営利活動法人 DPI 日本会議／一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会／公益社団法人全国脊髄損傷者連合会／公益社団法人全国精神保健福祉会連合会／一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会／社会福祉法人全国盲ろう者協会／社会福祉法人全国社会福祉協議会／公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会／全国「精神病」者集団／一般社団法人人権精神ネット）／一般社団法人全国手話通訳問題研究会／社会福祉法人全国手話研修センター／全国障害者問題研究会／きょうされん／全国ろう重複障害者施設連絡協議会／全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会／特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会／特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会／全国ろうあヘルパー連絡協議会／全国聴覚・ろう重複児施設協議会／一般社団法人日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会／全国ろう学校PTA連合会／大阪府／社会福祉法人大阪府社会福祉協議会／茨木市／社会福祉法人茨木市社会福祉協議会／特定非営利活動法人障害者放送通信機構

7. 開催日時 2027年2月20日（土）12時00分 ～ 2月21日（日）16時00分

8. 開催場所 立命館大学いばらきキャンパスH棟3階
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

9. 参加人数 400名

10. 参加資料代 一般 6,000円 / 学生 3,000円

11. 企画内容

《開会全体会》

(1)開会式

(2)記念講演 「高齢者人権条約制定に向けて（仮題）」金沢大学 名誉教授 井上 英夫 氏

《入門講座》

聴覚障害児・者の福祉の運動、実践、社会資源づくりから福祉情勢まで、広く学びたい方を対象とした初心者向けの講座です。

「なかまのつどい」の活動内容について、入門講座内で参加者自身からご報告いただきます。

講座1	災害から命を守る～私たちが今できること
講座2	聴覚支援学校の今を知る～子どもたちの学びと支援の現状
講座3	大阪の施設づくりの原点
講座4	事業と運動の連帯～近畿合同機構の取り組み
講座5	『なかまのつどい』報告

※事情により講座の順序および内容を変更する場合もございます。予めご了承ください。

《実践交流会》

5つの分科会に分かれて、施設や事業所でのろう重複者や高齢聴覚障害者、中途失聴・難聴者および聴覚障害児への援助実践や研究を持ち寄り、交流・議論を深めます。また、地域で暮らす聴覚障害児・者の福祉ニーズを取り上げ、専門的支援の必要性を明らかにし、地域支援の今後の課題について考え、提起します。

●第1分科会 「福祉実践と福祉制度のあり方を考える」

共同研究者 石倉 康次氏 総合社会福祉研究所 理事長

共同研究者 小林 泉氏 全日本ろうあ連盟 常任理事

聴覚障害児・者の暮らしを支えていくために、障害者総合支援法や介護保険法など制度が担えない課題を整理し、今後の制度の在り方、取り組みや運動について討論します。

●第2分科会 「発達を支える（労働・発達・こころとからだの健康・集団作り）」

共同研究者 田村 和宏氏 立命館大学産業社会学部 教授

共同研究者 中橋 道紀氏 全日本ろうあ連盟 理事

発達、労働、健康、コミュニケーション保障等について各地域・事業所等、様々な立場からの実践を持ちより共通する課題を明らかにし、議論を深めます。

●第3分科会 「地域生活を支える（重複・難聴・放課後デイ・地活）」

共同研究者 志藤 修史氏 大谷大学社会学部 教授

共同研究者 藤平 淳一氏 全日本ろうあ連盟 理事

重複聴覚障害者や聴覚障害児、難聴者、中途失聴者が自由にコミュニケーションをとることができる社会環境を整えるためには、既存の資源に加えて、新しい社会資源の創出、ネットワークづくりが大切です。どのような資源があれば、地域で豊かに暮らせるのか、また支援体制はどうあるべきか等を考えます。楽しく豊かな暮らしのために工夫されている実践を持ち寄り、交流します。

●第4分科会 「高齢期を豊かに支える（在宅支援・施設のくらしづくり）」

共同研究者 都村 尚子氏 関西福祉科学大学社会学部 教授

共同研究者 中西 久美子氏 全日本ろうあ連盟 副理事長

高齢聴覚障害者の「人として」の暮らしには、身体や認知機能の低下への支援だけではなく、安心してコミュニケーション支援を受けられる体制づくり、介護者家族同士の交流、地域社会で利用できる資源の活用や協力が得られるネットワークづくりが不可欠です。施設においては画一的なケアではなく、本人の願いに寄り添い、その人らしい人生を尊重し、生きることを支え、生きる意欲を創出するための援助や介護について実践交流します。

●第5分科会 「家族の願いと家族会の役割」

共同研究者 中村 克巳氏 大阪聴覚障害者福祉会・後援会 事務局長

共同研究者 櫻井 貴浩氏 全日本ろうあ連盟 理事

重複障害児・者の親、家族が抱える悩みや思いを交流し、親・家族の置かれている実態を明らかにします。また、悩みや思いを率直に出し合い共有することで、孤立する家族をなくします。学びを共有し、今後の家族連絡会の在り方や取り組み、明日への希望につなぐ交流をつくります。家族だけでなく家族を支援する関係者の積極的な参加を呼びかけます。（教育関係者・施設や支援センター等で家族の相談にあたっている方、心理カウンセラーなど）

《なかまのつどい》

参加者のご家族・なかまが集い、なかま同士で自己紹介やレクリエーション等を通して交流を深めます。

《自主交流会》

参加者が発起人となり、職種や立場、課題別に集まって交流を深めます。

《展示・販売》

全国各地の重複と高齢の聴覚言語障害者支援事業所、関係団体で生産された自主製品等の展示販売を行います。

《閉会全体会》

入門講座及び各分科会の概要を報告し、集会の成果を共有するとともに、次期開催地へ引き継ぎます。

12. 日程表

20日（土）			時刻	21日（日）		
入門講座	分科会	なかまのつどい		入門講座	分科会	なかまのつどい
集おう！学ぼう！交流しよう！			9	受 付		依頼者から 引継ぎ
			10	入門講座 2 9：30～10：30	分科会 9：30～ 12：00	創作・レク など
				休憩		
			11	入門講座 3 10：40～12：00		
共同研究者 司会者打合せ		依頼者から 引継ぎ	12	昼 食 12：00～13：00		
受 付 12：00～						
開会式 12：30～						
記念講演 12：40～14：40		創作・レク など	13	入門講座 4 13：00～14：20	分科会 13：00～14：45	創作・レク など
			14	なかまのつどい 報 告 ②		
移 動			移 動		依頼者へ 引継ぎ	
入門講座 1 15：00～16：30	分科会 15：00～17：00		15	閉会全体会 15：00～15：45		
なかまのつどい 報 告 ①			16			
移 動		依頼者へ 引継ぎ	17			
自主交流会（自由参加） 17：30～19：00			18			

第 29 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 事務局
〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥 11
社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会 法人本部内
電話 072-959-2252 FAX 072-959-2632
E-mail zenchi-osaka@daichofuku.or.jp

